

第 32 回東京 PD 研究会

テーマ

『 SDGs 継続可能な PD の開発目標 』

日時:令和 5 年 5 月 27 日(土)

14:00~17:20

場所:東京慈恵会医科大学 高木 2 号館

地下 1 階 南講堂

東京都港区西新橋 3-19-18

＜ご挨拶＞

すがすがしい新緑とともに、花水木、藤、躑躅と色とりどりの花が元気をくれる季節になりました。皆さまにおかれましては、東京PD研究会に日頃より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度当番幹事を仰せつかり、はなはだ力不足ではございますが、ご参加いただける皆さまの明日からの診療に少しでも役立つ会になるようプログラムを作成しました。代表幹事横山啓太郎先生、事務局丸山之雄先生がたのご尽力を賜り、PDセミナーおよび集合形式による研究会開催で、東京慈恵会医科大学をお借りして3年ぶりに現地開催ができることになりました。テーマは「SDGs 継続可能なPDの開発目標」といたしました。

特別講演を小松康宏先生にお願いいたしました。PD処方を「医学的な問題解決」から「患者の人生（生活）の目標達成を支援する」ことに変えることを提唱するISPDガイドライン2020について、医療の質改善に長年取り組んでいらっしゃる小松先生にわかりやすくご講演いただきます。

一般演題には、療法選択、PDトラブル、長期PD症例、PDを含めた腎代替療法全般を考える、など、実に様々な12の演題の応募を頂きました。いずれの演題も個々の問題を解決していくことで「持続可能なPD」に貢献し、我々の明日からの臨床に役立つものばかりです。応募頂いた皆さまに感謝するとともに、病院・クリニックの医師・看護・栄養士・薬剤師・臨床工学技師のみならず、地域のパワーが近い関係にある本研究会で、face to faceで意見交換ができることは本当に楽しみです。

テーマに選んだ「SDGs」について、改めて述べたいと思います。2015年に「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が国連で採択されました。これは2001年に策定されたミレニアム開発目標を発展させ、持続可能な開発のための17の国際目標と169の達成基準、232の指標（Sustainable Development Goals, SDGs）からなります。中世に大流行したペスト（黒死病）の後、ヨーロッパはルネサンスを生み出しました。新型コロナウイルス感染、地域のみならず全世界に影響が及ぶ戦争、などを経験している現代の我々は、何を生み出すことができるでしょうか？「転んでもただでは起きない」という気概で対応すれば、一人一人が少しでも何らかの変革に参加できることを信じています。

残念ながら「懇親会」はできませんが、改めて「懇親」を深める機会になることを祈っております。皆さまと研究会でお目に掛かることを楽しみにしております。

2023年4月

第32回東京PD研究会 当番幹事

東京都立小児総合医療センター 総合診療科

幡谷 浩史

プログラム

14時00分-14時05分 開会の挨拶

当番幹事挨拶: 幡谷 浩史 東京都立小児総合医療センター

14時05分-14時45分 一般演題 I (発表7分、質疑3分)

座長: 今井 早良 日本赤十字社医療センター 看護部 血液浄化センター
丹野 有道 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 腎臓・高血圧内科

1. 炭酸カルシウム結石によりカテーテル機能不全をきたした一例
満野 竜ノ介 慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科

2. 腹膜透析導入後の交通性陰嚢水腫を C T-peritoneography で診断した 1 例
真崎 里紗 三井記念病院 腎臓内科

3. 器質的気分障害、脳出血後の高次機能障害を有する患者への腹膜透析導入の一例
前川 早智子 日本赤十字社医療センター 看護部

4. 腎代替療法選択外来開設に向けた取り組み
佐藤 美優 東京医科歯科大学病院 血液浄化療法部

～休憩5分～

14時50分-15時30分 一般演題 II (発表7分、質疑3分)

座長: 柳 麻衣 日本赤十字社医療センター 腎臓内科
中田 純一郎 順天堂医院 腎・高血圧内科

5. 腹膜透析を導入した血小板減少症患者 2 例
日鼻 瑛 慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科

6. *Rhizobium radiobacter* による難治性腹膜炎に対して腹膜透析用カテーテル抜去術を施行した
腹膜透析患者の一例

永井 麻梨恵 東京医科大学 腎臓内科学分野

7. 当施設での過去 6 年間の PD 関連腹膜炎の起因菌についての検討
土谷 千子 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科

8. 当院での PD 排液中 WBC と培養陽性率の関連
増田 直仁 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

～休憩5分～

15時35分～16時15分 一般演題Ⅲ（発表7分、質疑3分）

座長： 森本 耕吉 慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科
酒井 謙 東邦大学医療センター大森病院 腎センター

9. 腹膜透析患者における継続的な残存腎機能評価指標としての血清尿素窒素/クレアチニン比の臨床的可能性

殿村 駿 慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科

10. 6年間の腹膜透析・血液透析を経て生体腎移植を行った一例

福崎 晴奈 順天堂大学医学部 腎臓内科

11. 地域と連携して長期PDからのPD-lastが可能であった一例

佐藤 智輝 日本赤十字社医療センター 腎臓内科

12. 全ての腎代替療法を経験した1例から考える、持続可能な腎不全診療の実践

貝原 朱香 日本赤十字社医療センター 腎臓内科

～休憩10分～

16時25分～17時15分 特別講演

座長： 幡谷 浩史 東京都立小児総合医療センター

SDGs時代の腹膜透析医療

「ISPD 勧告：質の高い目標指向型の腹膜透析をめざして」を読み解く

板橋中央総合病院 副院長 総合診療内科 小松 康宏 先生

17時15分～17時20分

閉会の挨拶 次回当番幹事 丹野 有道 東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター

ご案内

受付開始: 13:30~

受付場所: 東京慈恵会医科大学 高木 2 号館 地下 1 階 南講堂
東京都港区西新橋 3-19-18

会費: 医師・企業関係者 3,000 円、レジデント・コメディカル 1,000 円

演者の方へ

※一般演題は発表7分、質疑3分でお願いします。(時間厳守でお願いします)

※スライドは Microsoft PowerPoint(Windows のみ)で作成をお願いします。

※スライドについては 5 月 24 日(水)迄に応募アドレス tokyopd32@gmail.com にメール添付で送付ください。(当日のスライド受付は出来ませんのでご注意ください)

東京 PD 研究会

最高顧問 佐中 孜, 多川 齊 (五十音順)

顧問 秋澤 忠男, 乳原 善文, 岡田 一義, 窪田 実, 栗山 哲, 栗山 廉二郎, 篠田 俊雄,
杉本 徳一郎, 中尾 俊之, 原 茂子, 本田 雅敬 (五十音順)

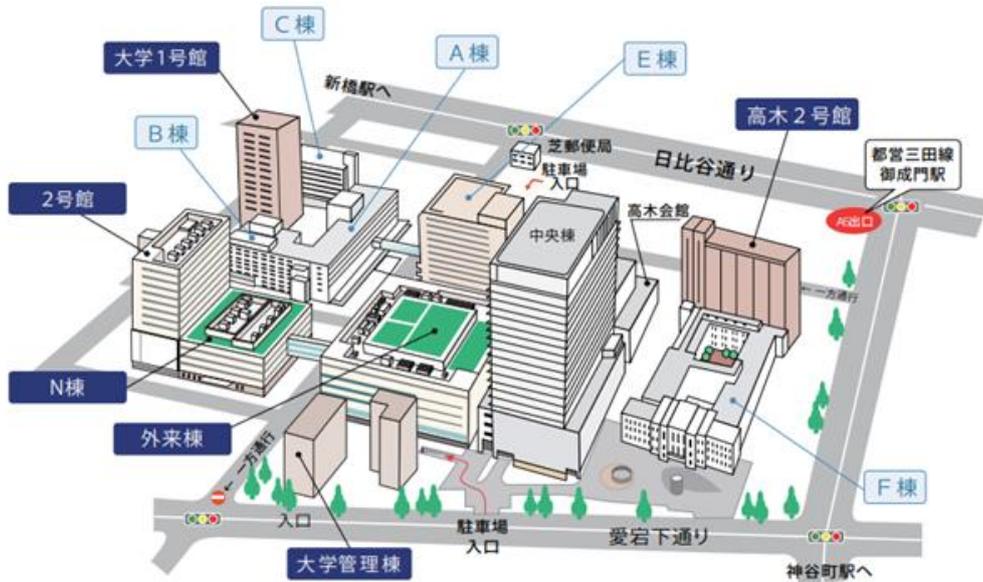
代表幹事 横山 啓太郎

幹事 阿部 雅紀, 石橋 由孝, 今井 早良, 大沼 裕美, 菅野 義彦, 古賀 祥嗣, 酒井 謙,
酒井 行直, 田村 博之, 丹野 有道, 内藤 省太郎, 中田 純一郎, 幡谷 浩史,
樋口 千恵子, 星野 純一, 本田 浩一, 三瀬 直文, 鷺田 直輝 (五十音順)

賛助会員 株式会社ジェイ・エム・エス, 協和キリン株式会社, テルモ株式会社,
鳥居薬品株式会社, バクスター株式会社 (五十音順)

事務局 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科

交通アクセス



会場: 東京慈恵会医科大学 **高木2号館 地下1階 南講堂**

都営三田線

御成門 A5 出口 約 3 分

日比谷線

神谷町 3 出口 約 7 分

銀座線

虎ノ門 1 出口 約 10 分

丸の内線・千代田線

霞ヶ関 C3 出口 約 13 分

JR

新橋駅 約 12 分